

「食と薬の研究会」

主催：富山大学和漢医薬学総合研究所
共催：21世紀 COE プログラム

「食と薬の研究会」

日時：平成18年11月7日(火) 17:00～

場所：富山県民会館 302号室

主催 / 富山大学和漢医薬学総合研究所
共催 / 富山大学21世紀 COE プログラム
後援 / 株式会社アミノアップ化学

【プログラム】

- 17:00～17:15 開会の挨拶 (富山大学 和漢医薬学総合研究所長)
- 17:15～17:45 「機能性食品 AHCC の、肝細胞癌術後補助療法としての効果」
松井 陽一 (関西医科大学 外科 助手)
座長：嶋田 豊 (富山大学大学院医学部研究科 和漢診療学講座 教授)
- 17:45～18:45 「Harnessing Nature's Power for Improved Immunity」
M. Eric Gershwin, M.D. (University of California at Davis)
座長：常山 幸一 (富山大学大学院医学部研究科 病理生理学講座 助教授)
- 18:45～ 閉会の挨拶 (富山大学21世紀 COE プログラム拠点リーダー)



問合せ先：富山大学21世紀 COE プログラム事務局
〒930-0194 富山市杉谷 2630
TEL: 076-434-7140
FAX: 076-464-4656
E-mail: 21coe@adm.u-toyama.ac.jp

日時：平成18年11月7日

場所：富山県民会館

講演題目

1. 「機能性食品 AHCC の、肝細胞癌術後補助療法としての効果」松井 陽一博士 (関西医科大学・外科 助手)
2. 「Harnessing Nature's Power for Improved Immunity」M. Eric Gershwin, M.D. (University of California at Davis)

概要：薬食同源といわれるように伝統医学では“食物”と“薬”は同次元のものと考えられており、したがって古来より疾患の予防・治療における“食物”の重要性が認識されている。一方、近年、欧米においても健康の維持増進や疾患予防における“食物”の重要性と役割に大きな関心と期待が寄せられており、その結果、機能性食品の効能に関する基礎及び臨床研究が進展している。そこでこの分野で先駆的な研究を推進されている米国カリフォルニア大学 デービス校

教授 エリック ガーシュウィン博士と関西医科大学 松井陽一博士をお招きし、“機能性食品の効果に関する最新の研究成果”と“医療における機能性食品の役割と将来性”について講演戴いた。

本研究会では富山大学 COE プログラム事業推進者、富山県内外の医薬品・食品研究者、計 63 名が参加し、活発な質疑・応答が行われた。尚、本研究会は富山大学和漢医薬学総合研究所が主催し、富山大学21世紀 COE プログラムが共催となり、株式会社アミノアップ化学のご後援のもとに開催されたものである。(文責：済木育夫)